

令和元年度第4回青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会会議録(概要版)

1 日時 令和元年12月2日(月) 午後1時30分～午後3時

2 場所 青梅市役所 403会議室

3 出席委員

森田委員、加藤委員、小澤委員、徳武委員

4 議事

協議事項

(1) 市民と市長との懇談会開催結果について

(2) 次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体構成について

(3) とんがり事業の優先分類について

(4) その他

(配布資料)

資料1 市民と市長との懇談会開催結果

資料2—1 第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

資料2—2 次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略基本姿勢案

資料3—1 とんがり事業簡易優先分類一覧

資料3—2 とんがり事業優先分類の考え方

・令和元年度第4回青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会会議録概要版

発言者	会議のてん末・概要
会長	<p>(開会)</p> <p>令和元年度の第4回目の懇談会を開催させていただく。</p> <p>今年は、これまでに懇談会を3回行なった。</p> <p>1回目は人口ビジョンや総合戦略の検証についてであり、これまでの取組とその結果などを振り返った。</p> <p>2回目は新たな総合戦略の全体像などについてで、この時に初めてとんがり事業が出されている。</p> <p>3回目は、主に次期総合戦略においても継続して行う事業案などについて、皆さんから御意見を出していただいた。</p> <p>これまでの議論をふまえて、新たな総合戦略がかたちになってきている。仕上げに近づいてきていることを意識して、御意見をいただきたいので、本日もよろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは次第の2、市民と市長との懇談会開催結果について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>2 市民と市長との懇談会開催結果について (市民と市長との懇談会開催結果について、資料1を用いて説明)</p>
会長	<p>「市民と市長との懇談会開催結果」について事務局から説明があった。御質問等あればお願ひしたい。</p>
委員	<p>市長が各地域に出かけて市民と懇談するのは大変よい機会なので今後も継続していただきたいと思う。この4地区での開催について、参加人数と参加者の年齢はどれくらいか。</p>
事務局	<p>まず地区の4区分についてだが、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略で示した4地区に沿って開催した。参加者数についてはおおむね 1 会場20名前後の方が参加されている。年齢については、若年層の方は出席があまりなく、50歳代、60歳代の方が中心になっている。</p>
委員	<p>やっぱり高齢者だけになってしまうと、問題が集中してしまう。難しいと思うが参加募集の時に何か工夫ができるとよいのではと思う。</p>

委員	<p>7月に子育て世代の方との懇談会があり、その後事業者との懇談会があり、それぞれ違う意見が出てきていると思うが、全部総合して事業に反映されるとよいと思う</p> <p>市民と市長との懇談会は夜7時からなので子育て世代の方は参加が難しい。いろいろな世代の方が交流しながら懇談できる会もあるといいと思う。</p>
会長	<p>市民の中には「我々の意見が反映されていない」という人がいる。市役所としては努力してこのような懇談会を開いたりしている。</p> <p>市長は忙しいので、部長や課長が話を聞く場をもっと設けたらどうかと思う。</p> <p>テーマを分けたり、多様な年齢層の方から話が聞けるようにすれば、色々な意見が聴取できるのでは。</p>
事務局	<p>3 次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体構成について (次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体構成について、資料2-1および2-2を用いて説明)</p> <p>資料2-2の基本姿勢について、欠席の茂原委員からは、「あそぼうよ！青梅」がよいとの御意見をいただいている。</p>
会長	<p>次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体構成について説明があった。</p> <p>次期総合戦略の全体の構成について、目次のとおり五章立てになっている。</p> <p>まずはこのような全体の構成について、御意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>目次と章立てについてだが、文字の送り仮名などの整合が取れていないところがある。文章中にもあるようなので確認をお願いしたい。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた部分を含め、全体を再確認して、整合のとれた内容にしていく。</p>
委員	<p>同じようなことだが、第2章が青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証になっていて、その下に1青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証というように、全く同じ書き方になっているので、わかりにくさがある。</p> <p>基本的には全体の流れはこのようなかたちがよいと思う。</p>

会長	<p>第2期総合戦略をつくる中で、第1期の内容を振り返らないわけにはいかない。人口ビジョンから入って、検証を行い、では次にどのようなことをやるかという、このようなつくりについてはよいかと思う。</p>
委員	<p>問題提起ということでグラフが使われているのは効果的。あとは活字が多いと見たくないと感じるかもしれない。余白があるので、写真を入れたりしてやわらかくしたらよいかと思う。</p>
委員	<p>この総合戦略はどういった形で市民の目にふれるのか。</p>
事務局	<p>基本的には本日お配りした冊子の形になる。今後パブリックコメントを行う際にも、冊子にして、各市民センターなどに置き、市民に見ていただく。また、データとしてホームページで公開して意見をいただく予定となっている。</p> <p>策定後も、同じように冊子の形にして市民センターや市役所などに設置するほか、ホームページでも閲覧できるようにしていく。</p> <p>概要版についても作っていく予定。</p>
委員	<p>そういう時でも、様々な手段を講じて、色々な世代の方の目にふれるようにしていただきたい。</p>
会長	<p>若い人はホームページでも見られるかと思う。委員が発言したように、色々な形で見られるようになるとよい。</p>
事務局	<p>以前からお話しているSNSをここで立ち上げたので、SNSからリンクを貼るなどして、できるだけ多くの方の目にふれていただきたいと考えている。</p>
会長	<p>次期総合戦略から、それぞれの事業ごとに目標が設定されている。</p> <p>各事業に目標が設定されていることについてはいかがか。</p> <p>事務局に伺いたいのが、各事業に設定されている目標はそれぞれ違うが、設定する際の基準みたいなものはあったのか。</p>
事務局	<p>各事業が多岐に渡っているため、基準は特に設けていないが、各分野それぞれに計画を持っているので、その計画に沿って5年後の目標を設定している。また、新たにチャレンジするということで目標を設定している事業もある。</p>
委員	<p>24ページの「各種事業および政策パッケージを展開してきましたが、重要業績評価指標の目標数値を、ほぼ達成できませんでした。」というところを踏まえると、今回の向こう5年でも、目標値が高すぎて、またほぼ目標を達成できま</p>

会長	<p>せんでしたとならないか。目標が高すぎたり、低すぎないように設定をしていただけだと思う。結果的に目標達成できたものがないと、次期に向けたやる気への影響や目標設定がよかったのかということになる。</p> <p>現行の戦略を始めて4年余りが経つが、長く続けなければ結果が出ないものもあり、据え置いている目標もある。</p>
委員	<p>もう少し時間があれば達成できるということであれば、よいかと思うが、また課題が達成できなかったということにならなければよいと感じている。</p>
会長	<p>すごく努力したことが結果として現れるようなKPI、目標設定になればと思っているが、中には達成が難しいこともあるのではないかな。</p>
委員	<p>希望数値になっている。</p>
会長	<p>青梅市の総合長期計画に沿って色々な施策ができてきているようなので、これに沿って目標も設定されている。今回の目標はほぼ前回の数値が採用されているので、次回も達成は厳しいかもしれない。</p> <p>委員が発言したように、トータルで約10年やってきて、いくつかでも達成できていないかということが気になる。</p>
事務局	<p>KPIについては現行のものを引き続き掲載しているものもあり、委員からの発言のように、中々実現が難しいところもあるかもしれない。今回は個別の事業ごとに現状と目標を掲載しているが、こちらは現実的に可能な数字を載せている、KPIについてはそれらの積み重ねの結果として出てくる数値なので難しい部分もある。一方はより現実的に、一方は高い目標を持ってがんばっていくという姿勢を見せているということもある。</p>
会長	<p>資料2-2の基本姿勢やキャッチフレーズについてはいかがか。</p>
委員	<p>市民の御意見を聞くということは考えているか。</p>
事務局	<p>市民へは、最終盤に近いものをパブリックコメントの際にお示ししたいと考えている。現段階では選択していただいたものを入れ込んで、議会にも説明していきたいと考えている。</p>
会長	<p>2番目(もっとおうめ大戦略)の解説を見ると、これもよいと思う。</p>

委員	他市を参考にしているものはあまりよくないかと思う。
委員	サブタイトルで一番ふさわしいのは1番上(あそぼうよ！青梅)かなとも思う。青梅の特徴である、自然豊かな風景など青梅の売りだと思う。 「あそぼうよ！青梅」というのが、もう少しかなと。
委員	市民の皆さんが聞いて、思わずニコットするのは一番上(あそぼうよ！青梅)だと思う。共感を得られるという意味で。 もっと力が入ってほしいと思うと、2番目(もっとおうめ大戦略)や3番目(おうめまるごと大戦略)になる。 多くの市民を生活者とイメージすると、1番(あそぼうよ！青梅)になる。
会長	呼びかけられている感じがする。
会長	第4案はあるか。
委員	最終的に、この言葉は資料の26ページのところに入るということか。
事務局	26ページの3つの基本目標の下に記載する。
会長	自然に言及するのはどうか。自然とあそぼう青梅とか。
委員	一言ですべてを網羅するということは中々ありえないので、イメージでいいという気がする。キャッチフレーズの上に3つの基本目標が記載されていて、子どもとか将来とか、魅力とかそういう言葉と連鎖反応を起こすという意味では、「あそぼうよ！青梅」がよいと思う。 ただ、少し表現が柔らかいかなとも感じる。
委員	「あそぼうよ！青梅 大戦略」というのはどうか。 柔らかく自然豊かな環境の中で、みんなでなんとかやろうと、みんな考えていこうという感じになる。大戦略が2つの案についているのは、そこに重きを置いているのかと思う。 「あそぼうよ！」は柔らかくて、遊び心があると思う。
委員	中々この場で決めるのは責任が重い。
委員	この懇談会での参考意見としていただいてはどうか。

事務局	<p>ここで決定するのは難しいと思うので、いただいた御意見を持ち帰り、市の総合戦略に関する本部会議にて検討し、決定していきたい。</p>
会長	<p>この件は市に引き取っていただき、我々は意見を申し上げ、参考にしていただくといいことで、市にお願いする。</p>
会長	<p>政策パッケージを一つにまとめ、子育てに重点を置いたということについてはいかがか。</p> <p>現状は人口推計とほぼ同じように人口減少が進んでいる。最初に設定したように、人口は減るが、その減り方をなだらかにしていく。そのためには子育てに対して全力で取り組もうと考えられていると思う。</p> <p>これはよいと思うが一本化したことについてなど御意見はどうか。</p>
委員	<p>子どもを産んでほしいということだが、子どもを産むということに躊躇している女性や子育てをしている女性もいる。</p> <p>そして、たくさん子どもを産んでほしいものだから「お困りのことは何ですか」と聞いてしまう。そうすると、こういうことに困っていると言う。</p> <p>元々、実はそこまで困っていないが聞かれるからつい言うってしまう。それが結局社会の中で不安を増幅させてしまう。そういうことは聞くとしても、情報として発信する場合は、赤ちゃんを抱いてうれしそうにしているお母さんの「とても幸せです」という気持ちを広報誌などで発信することで、むしろ不安が払しょくされると思う。</p> <p>経済についても、「大変ですか？」と聞くと、皆「大変です」と言って景気が悪い気がしてきてしまう。</p> <p>未来に明るいイメージを抱かせるようなことを発信した方がイメージとしては大事かと思う。</p>
委員	<p>若い人と話をしていると、漠然とした不安感があって、何をすることも臆病という感じがする。</p> <p>もっと成功体験を植え付けてもらえればということもある。やはり他も安定していないと、そういう気にならないということもある。若い人へ「あなたたちの年金は大丈夫」と言ってもらわなくてもいいが、やはり全体的な不安感があるが、それをどう総合戦略に表すかは難しい。青梅市が全部に目を配っているんだということが伝われば、少しでも安心感を得られるのではないか。</p> <p>若い時は皆、おっかなびっくりだが、もう少し無謀さがあったらいいと感じている。</p> <p>若い人たちはこんなにも安定した社会に生きているにもかかわらず、不安を抱えている。</p>

委員	<p>繰り返すが成功体験をもっと見せていきたいと思う。</p> <p>考え方は他の委員と同じ。</p> <p>政策パッケージを子育てに重視していくことはいいか悪いかでいえばいいと思う。</p> <p>これから就労人員を増やしたり、起業する人を増やしたりするには、原点として子どもが生まれたタイミングが大事。妊娠した段階から不安になるお母さんがいるということになれば子育ては原点だと思うので、これを政策パッケージにしてよいと思う。</p>
会長	<p>皆さんの意見では、おおむねよいという方向かと思う。</p> <p>資料の下の部分にあるとおり、色んなことをやりながら支えるということになる。</p>
事務局	<p>4 とんがり事業の優先分類について (とんがり事業の優先分類について、資料3-1および3-2を用いて説明)</p>
会長	<p>とんがり事業の優先分類について、新規事業へ推すような事業や、全体についてなど、御意見はいかがか。</p>
会長	<p>とんがり事業のアドベンチャーラインの一駅一事業はすでに行っているのか。</p>
事務局	<p>すでに取組が始まっている。これに限らず、事業の実施や検討の熟度が上がってきたものは、新規事業に組み込んでいくという考えがある。</p>
会長	<p>27番の御岳山についてだが、御岳山は青梅の売りなので、このような事業はよいと思う。</p>
委員	<p>2番の「グローバル人材の育成 Omeで英語が身につく教育プロジェクト」というのがあるが、これが実現したらすごいこと。算数を英語で勉強するのは大学生でも難しいこと。</p> <p>こういう時の人材確保は本当に難しい。日本人に英語を教える人材はほぼ争奪戦のようになっている。おそらく英語教師というと青い目で金髪の方を想像すると思うが、お願いしてみると訛りのある英語を話す方が来たりとか、欧米以外のところから人材が派遣されたりする。そういう時に偏見なく接することができるかどうかなど、負担が増えてくる。それで子どもたちの授業に差ができて</p>



<p>会長</p>	<p>しまっちはいけない。素晴らしいアイデアなので、慎重に進めていただきたい。</p> <p>英語版サタデースクールのような英語に親しむということであれば、大学生のチューデントアシスタントでできる。できることからやり始めるのがよいと思う。ただこれらをコーディネートする人が大変になると思う。</p> <p>2020オリンピックの関係で外国人のアンケートを見ると、もう少し日本人に英語ができてほしいというコメントが多い。色んな人が日本は素晴らしい国なのに、英語が・・・という人がいる。</p>
<p>委員</p>	<p>2ページの12番について、保育所が待機の方に1か月5万円を支給という内容になっている。支給も大事だが、ではどこに預けるのかとか、保育ママを増やすとか、そういう部分にも目を向けて支援をしていただけるとよいと思う。</p> <p>お金だけもらっても預け先がないと成り立たない。</p>
<p>事務局</p>	<p>とんがり事業についてはアイデアベースなので実現性については今後の検討になると思う。</p> <p>提案者の考えとしては、待機になった場合とは認可保育所に入れないことを指すと思うが、その場合に民間の認可外保育所に預けるとなるとお金がもう少ししかかるということになるので、その部分を補填しましょうということ。</p> <p>しかし委員の発言のとおり、預け先が無いことには預けられないので、このアイデアを生かすためには、保育ママや認証保育所などを増やすことが先だということになるかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>9ページの72番の農地付き空き家活用事業に関連して、空き家の状況や管理について、市の方で把握されているか。利用したい人への情報提供など、市はどこまで関われるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市では調査をしたこともあるので、ある程度の数は把握している状況にある。</p> <p>また空き家バンクという事業で、空き家の登録をお願いし、空き家を使いたい人とのマッチングを行っている。</p> <p>青梅市は農地もあり、農業体験を行いたいという人もいるので、セットにしてみたらどうかというアイデアになっている。</p> <p>優先順位1になっているが、そういう中でも課題は多いので、優先順位1を中心に関係部署が集まって検討し、実現できればと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>7項目の視点から点数付けをして、このように分類を試みるというのはよいと思う。</p>

<p>会長</p>	<p>以前、委員からも話が出たかもしれないが、105番のSDGs(エスディージーズ)はいずれ必ずやるようになるし、企業では始めているところもあるので、なるべく早くやり始めた方がいいと思う。</p> <p>行政であればなおさらすぐにでも始めた方がいい。</p>
<p>委員</p>	<p>以前申し上げたかもしれないが、SDGsが理念のバックボーンになると思う。</p> <p>近隣の自治体はまだ取り組んでいないようなので、早く取り組んだ方がいいのではないか。後追いでは無く先行する方がいい。</p> <p>SDGsは17のゴールがあるが、この総合戦略にはほとんど当てはまるのではないかと。キャッチフレーズが「誰も取り残さない」というもので、大事な視点だと思ふ。そういうあたたかい青梅を出してもらえるとよい。</p>
<p>会長</p>	<p>とんがり事業については、分類の仕方もよいと思う。また分類1のものから実現に向け取り組んでいくというのもよいということでもとめる。</p> <p>特にSDGsについては早く進めていただきたい。</p> <p>本日の協議事項は、以上とさせていただきます。</p> <p>本日発言のあった点については、次期戦略の策定に向け、事務局にて対応をお願いします。</p> <p>最後にその他について何かあればお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の会議録について、用意ができ次第、委員の皆様にお送りするので、内容の御確認をお願いしたい。</p> <p>今後の予定として、本日いただいた意見を参考として、市の本部会議にて原案を策定していく。この原案の内容は今月の市議会全員協議会にて報告し、各議員からも意見をいただく予定である。</p> <p>その後、1月にはパブリックコメントを実施し、この結果を受け、最終的な次期総合戦略案を取りまとめる。その内容について、改めてこの懇談会にお諮りし、最終的な総合戦略を策定していきたいと考えている。</p> <p>次回の懇談会については2月中の開催を予定している。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で本日の議事はすべて終了した。</p> <p>以上をもって、令和元年度第4回青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会を終了とする。</p> <p>(閉会)</p>